瀬藤 芳哉

1. 授業の概要(ねらい)

今、多くの企業にとって海外とのつながりが必須である。輸出や投資での海外進出もあれば、観光等のインバウンドもあ うした国際的な活動を進める上で外国の政治・経済状況や投資環境等と企業自身の状況を把握することが大事で ある。このゼミでは(1)企業活動の舞台となっている国々、主にアジアを取り上げ、政治・経済状況等の見方を学ぶ。また (2)企業(大企業、中小企業)の経営状況、アジア等での事業の状況と課題を調べ、考える。

授業では、①国の政治・経済状況に関する教科書ないし資料の輪読を行う。受講者は担当する国の内容をレジュメにま とめて報告し、全員で質問・討論する。続いて、②グルーブを作り、担当国を決め、当該国の状況や企業活動についてレポートを作成し、発表する。こうした過程を通じ、メンバーが討論や発表方法を学び、経験を積めるようにしたい。③また海外 ビジネスや調査に携わっている外部講師による講義を1~2回行いたい。

なお、ゼミの進行状況、メンバーの関心等を踏まえ、運営方法や内容を変更することもあります。

2. 授業の到達目標

- ・アジアの政治・経済状況を把握する。
- ・海外展開している企業(大企業、中小企業)の状況を把握し、課題を考える。
- ・討論と発表の経験を積み、グループ内や人前で積極的に発言できる。

3. 成績評価の方法および基準

レジュメ(個人)の内容と発表:30%、レポート(グループ)の内容と発表:40%、授業への参加・貢献(質問、発言、他)・ 受講態度:30%

4. 教科書·参考文献

教科書

みずほ総合研究所 『図解ASEANを読み解く第2版』 東洋経済新報社

参考文献

池上彰 『池上彰の世界の見方 東南アジア: ASEANの国々』 (小学館)

大西裕、片山裕著 『アジアの政治経済入門 新版』(有斐閣)

末廣昭 『タイ中進国の模索』 (岩波新書)

佐藤百合 『経済大国インドネシア』 (中公新書)

一ノ瀬泰造 『地雷を踏んだらサヨウナラ』 (講談社文庫)

小松みゆき 『ベトナムの風に吹かれて』 (角川文庫)

5. 準備学修の内容

- ・東南アジアに関し、政治・経済に限らず、幅広い分野(小説、映画、食事、音楽、他)で触れるように心がけて欲しい。 ・企業の海外活動に関し、新聞、書籍、映像等で事例に触れる。
- ・レジュメやレポートの作成にあたっては、自分の言葉で、分かりやすくまとめる。

6. その他履修上の注意事項

- ·授業への参加·貢献を重視します。毎回遅刻せずに出席すること。受講態度(私語の有無、他)も重視します。
- ・第1回と第10回でオンライン授業を予定しています。

7. 授業内容

イントロダクション:ゼミの進め方や学習の仕方などを説明する。(オンライン授業) 【第1回】

【第2回】 アジア等の経済発展の歴史について(講義)

担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国) 【第3回】

担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国) 【第4回】

担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国) 【第5回】

【第6回】 担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)

担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国) 【第7回】

グループワーク 【第8回】

【第9回】 外部講師による海外事情(東南アジア等)についての講義(仮)

【第10回】 政治・経済状況と日本の関係(オンライン授業)

【第11回】 グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)

グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国) 【第12回】

グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国) 【第13回】

グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国) 【第14回】

【第15回】 まとめ